



2024年 第4回 東九州トレセン交流大会U11 in宮崎

～テクニカルレポート～

《報告者》 山田 将来

1. 日程・結果

3月9日 (土)

No.	チーム名	vs	チーム名	結果
1 日 目	① 大分A	-	宮崎B	0 - 1 ●
	② 大分B	-	宮崎A	5 - 0 ○
	③ 大分B	-	鹿児島B	1 - 4 ●
	④ 大分A	-	鹿児島A	2 - 4 ●

3月10日 (日)

No.	チーム名	vs	チーム名	結果
2 日 目	① 大分A	-	宮崎u10B	6 - 0 ○
	② 大分B	-	宮崎u10A	13 - 1 ○
	③ 大分A	-	宮崎A	3 - 4 ●
	④ 大分B	-	宮崎B	0 - 2 ●

～最終結果～

- 1位 鹿児島A
- 2位 鹿児島B
- 3位 宮崎B
- 4位 大分B**
- 5位 宮崎A
- 6位 大分A**
- 7位 宮崎u10A
- 8位 宮崎u10B

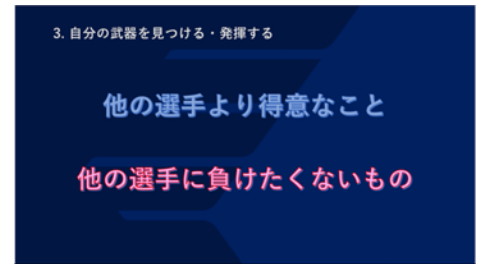
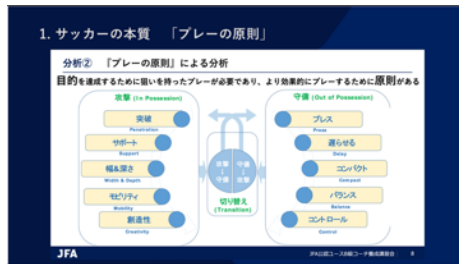
〔会場〕新富町フットボールセンター

2. 選手たちに求めたもの

【サッカーの原理原則】

【プレーの原則】

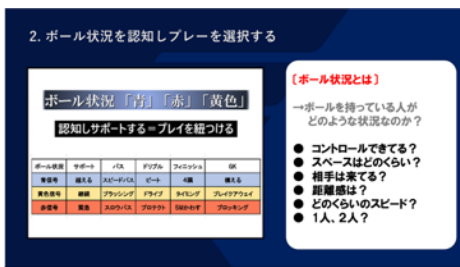
【武器を発揮する】



【ボール状況を認知する】

【数的状況】

【A代表と同じイメージ】



3. 課題と成果

〔攻撃〕

- ・自陣のビルドアップでハイプレスから失点が4割
- 課 題 ・アジリティの高い鹿児島選抜に個の突破が難しい
- ・身を投げ出す宮崎の強固な守備に得点が難しかった
- ・強度が高いとペナ内に侵入してシュートが少ない
- ・豪快なミドルシュートの精度と成功率が高かった
- 成 果 ・2人称→コンビネーションパスで突破
- ・得点力 →各県で一番
- ・攻撃方向を意識し前を向ける技術が高めだった

〔守備〕

- ・奪いに行く場面で足元の深い位置まで行けない
- ・プレスの奪いに行く場面にコントロール際で構えてしまう
- ・組織的な守備 →繋がり/ブロック/3つの壁
- ・奪いに行けるか/行けないか判断 行けない時は？
- ・相手のボール状況によって数的優位で守備を行えた
- ・GPのシュートストップでは能力が発揮できていた
- ・選手たちで意見を出し合い守備の強度を高めてきた
- ・ゴール前で最後は身を投げ出しゴールを守ったDF

4. 事前活動 (zoomミーティング開催)

※一部掲載

【u11に求めるもの】

【A代表の取り組み】

遠征前にミーティングを開催



2/27 (火)

- ・県トレセンTRで行った内容の復習
- ・原理原則
- ・プレーの原則
- ・ボール状況による認知度
- ・武器を見つける・発揮する

【数的状況】

【数的状況 見え方】

3/5 (火)

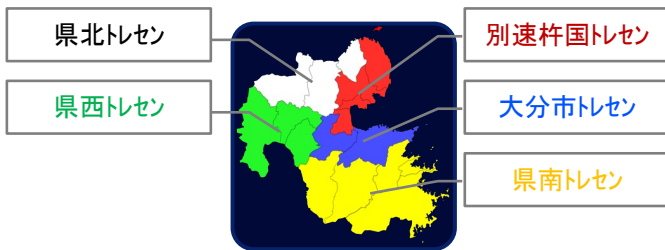


- ・ゾーンとレーンの判断基準
- ・攻守における数的状況の理解
- ・見え方→数的状況の切り取り
- ・観るもの (ゴール、ボール、味方、相手、スペース)
- ・遠征に向けての意気込み

5. 《ブロックトレセン》 巡回指導 / 選手の吸い上げ活動

5ブロック

～活動内容～



- ・大分県 5ヶ所のブロックトレセンを巡回
- ・各地域にてTRを行い、県トレセンの取り組みを共有
- ・各地域で**成長した選手の吸い上げ**を実施
- ・地域の活動状況や取り組みをスタッフと共有
- ・大分県全域のダイレクターと繋がる事ができた

☆大分県選抜 16名 内 4名の選手はブロックトレセン巡回によって吸い上げた選手

結果：**ゴールデンエイジ**を迎えるu11の年代では年間の活動を通して急成長する選手が出てくる。

→各地域で**急成長**している選手を**見落とさない**ように5ブロックのダイレクターとの繋がりを大切にしたい。

6. まとめ

Good

- ・事前に座学 (ミーティング) を実施した事でサッカー理解の部分で選手たちの**主体性**を引き出す事ができた。
- ・年間の県トレセン活動でテーマ別にTRを実施。スタッフで常に打ち合わせを行いブラッシュアップする事ができた。
- ・遠征前にU12の県トレ選手とTRMを実施。上の学年と試合を行う事で**インテンシティ**の高いトレーニングが設定できた。

Bad

- ・大分県内にGPコーチが少ないという現状があり、u11県トレセンでもGPのテクニックに特化したTRは少なめだった。
→宮崎選抜u10の選手(+GP)は早い段階でテクニックの習得を行っていた。(上の学年のトレセンマッチ参加)
- ・攻撃面ではTRの成果を感じたが、繋がりを持った組織的な守備や奪いに行けるか/行けないかの判断に課題が残った。
- ・鹿児島選抜は強度の高いハイプレスを高い位置から行っていた。大分県にはその強度が皆無だと感じた。

Next

- ・大分県でGKレベルI指導者講習会の開催。ライセンス保有者の普及、育成を進めていく→2024年度より開催予定
- ・県トレセンのTRを通して攻撃の部分と共に**組織的な守備**に対してTRを行っていく。→原理原則の理解
- ・球際の強度、高い位置からの守備を積極的に行っていく。その中でボールを失わずに得点を奪いに行く
- ・zoomなどリモートのミーティングを活用し 選手/スタッフ でイメージの共有を計画